腹腔鏡下胆嚢摘出術

ID：　　氏名：　　様　　主治医：　　医師

月　日	／	／		／	／	／	／
経　過	前　日	当日 術前	術後	1日目	2日目	3日目	4日目
達成目標	□手術の説明を理解し、同意している □入院に対する不安が自制内である □手術に対する不安が自制内である □入院生活の説明内容が理解出来る	□治療内容を理解し前処置が受けられる	□術後の全身状態・ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝが安定している □術後の安静が保てる	□ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝが安定している □創痛が自制内である □順調に食事がUPできる	□順調に食事がUPできる □創痛が自制内である □腹痛が無い	→	□退院準備が整う
輸液		□①ﾗｸﾃｯｸ500ml （2～3時間かけて投与） □②ｾﾌｧｿﾞﾘﾝNa注 1gﾊﾞｯｸ （1時間かけて投与）	□①ﾗｸﾃｯｸD500ml　（4～6時間かけて投与） □②KN3B500ml　（4～6時間かけて投与） □③ｾﾌｧｿﾞﾘﾝNa注 1gﾊﾞｯｸ　（1時間かけて投与） □④ﾗｸﾃｯｸD500ml　（4～6時間かけて投与） □⑤KN3B500ml　（4～6時間かけて投与）	□朝　□夕 □ｾﾌｧｿﾞﾘﾝNa注 1gﾊﾞｯｸ　（1時間かけて投与） □①KN3B500ml　（3～4時間かけて投与） □②KN3B500ml　（3～4時間かけて投与）			
処　置	□抗凝固・抗血小板薬中止確認 □臍処置 □ｱｽﾄ不要	□朝の内服確認 □剃毛　□術衣に更衣 □血管確保　□義歯除去 □臍処置　□ﾏﾆｷｭｱ除去 □弾性ｽﾄｯｷﾝｸﾞ着用　□ﾚﾋﾞﾝ不要	□EKGﾓﾆﾀｰ装着 → □ﾚｽﾎﾟﾝｽ装着 → □弾性ｽﾄｯｷﾝｸﾞ装着 →	□ﾓﾆﾀｰ除去 □ﾚｽﾎﾟﾝｽ中止	□弾性ｽﾄｯｷﾝｸﾞ除去 □ﾄﾞﾚｰﾝ挿入時ガーゼ抜去		ガーゼ交換
薬　剤	□ﾖｰﾃﾞﾙ2錠　1×（一）14時内服 □OP14日前より内服（Dr.に処方依頼） （喫煙者のみ）ｸﾘｱﾅｰﾙ 6錠 3×（14）毎食後	□硝酸ｲｿｿﾙﾋﾞﾄﾞﾃｰﾌﾟは主治医が必要時処方 □OP当日内服薬					
検　査	□採血　□胸X-P　□EKG □呼吸機能 ★全年齢でBNPは必須、70歳以上は心ｴｺｰ検査必須 但し、70歳以下でも心疾患の既往やBNP高値また、心電図に異常所見がある場合は心ｴｺｰ検査が必要		□術後胸部・腹部X-P	□AST ALT LDH ALP TP ALB TBIL DBIL BUN CRE Na K Cl CRP γ-GTP SAMY □CBC W分 □胸部・腹部X-P		□AST ALT LDH ALP TBIL DBIL BUN CRE Na K CL γ-GTP SAMY CRP □CBC W分	
活動・安静 ﾘﾊﾋﾞﾘ	□ﾌﾘｰ 入院中に栄養指導を行ないます。 入院説明時に栄養指導希望日を2つ程、 考えておくように説明する。 入院日に病棟で栄養科に連絡し、 栄養指導日を決定し患者・家族に伝える。		□床上安静 □Dr指示によりギャッジUP	フリー			
栄養(食事)		□朝から絶飲食		□朝　水分可 □昼　3分粥食 □夕　7分粥食	□朝～普通食　全がゆ	□朝～普通食 米飯	
清　潔	□ｼｬﾜｰ	□ｼｬﾜｰ		□全身清拭	□シャワー		
排　泄		□OP時バルン挿入（　　）Fr（　　）ml	固定	□バルン抜去　抜去後尿測 →	（朝まで尿測）		
看護必要度			□EKGﾓﾆﾀｰ □更衣介助 □洗面介助 □口腔ケア	□EKGﾓﾆﾀｰ □更衣介助 □洗面介助 □口腔ケア			
教　育 指　導 （栄養・服薬） 説　明							□次回受診 □採血有無 □退院処方 改定：2026.3/11